

この学校にわたしたち

2023. 4. 21

N05

相手が気持ちよくスタートできる挨拶

おはようございます!!



昨年、私は子どもたちの登校に合わせて、八対野と山田野に交互に立ち、安全に横断できるよう見守ってきました。今年度はそこに加え、1年生児童が登校に慣れるまでの間、算所交差点と美里の横断歩道も加え、毎朝2~3か所で立つようにしていますが算所・美里で立っていると毎朝、ニチリン白山の従業員と思われるアジア系の外国人の方が自転車に乗って私の前を3人ずつ少し時間をおい

て2つのグループで通り過ぎます。その時に必ず、全員が私の方を向き、笑顔で「おはようございます」と日本語で、しかも大きな声で挨拶をしてくれます。毎日毎日、時には私は横断歩道の反対側にいることもあります。私に聞こえるような声で元気に挨拶をしてくれます。私は「挨拶は心のバロメーター」であると思います。いつも元気に挨拶をする人が不安なことがあると声の大きさや表情にでてきます。自分から挨拶をすることが苦手な人もいます。

かつて関わった子どもで挨拶が苦手だった子が地域の方から毎朝、挨拶をしてもらうことで挨拶ができるようになったと地域の方から聞いたことがあります。たかが挨拶、されど挨拶。挨拶には相手の心を開く力があるのだと思います。「おはようございます」「ありがとうございます」など、言葉の種類は数多くありますが、声を出すことはまわりの人との人間関係を作っていく第1歩であると思います。私は毎朝のこの外国人の方の挨拶で、どんなに寒い日や雨の日でテンションが落ちていても、すぐに元気をもらい、気持ちよく1日をスタートさせることができています。私は挨拶ができるほうだと自分では思っていますが、知人から「挨拶する時の表情が硬い」と言われたことがあり、最近では少し気持ち悪いかもかもしれませんが意識的に笑顔をつくりながら挨拶をするようにしています。私も挨拶をした相手が気持ちの良いスターをきれいのようなさわやかな挨拶をしていきたいと思っています。

※ 3月13日よりハッ山駐在所の駐在員の方が人事異動で新たに赴任され、稲垣からの県道の横断、プール前での見守りの他、美里・山田野方面もパトロールを行っていただいております。



子どもの発する言葉から

毎朝、私に声をかけ人懐っこく話しかけてくれる子がいます。ある時、「お母さんやお父さんにかまってほしいんさな。でも、お父さんもお母さんも疲れているからペットと遊んどるんさ」と聞きました。その子のお家はお父さんもお母さんも子どもといっぱい関わり、一緒に遊んだり話をしたりしてもらっています。子どもの一言を逃さず、その思いを大切にしていくため、担任とも共有しながら見守っています。